
令和6年7月14日大雨

○(被害状況): 令和6年7月14日11時30分頃、降雨の影響で斜面崩壊が発生した。延長約40m、高さ約10m、幅約12mの被害規模で、出水市境町の国道3号へ土砂等が流入した。

○(対応状況): 一刻も早く通行規制を解除するため、土砂搬出、大型土のう150袋設置等を24時間体制で実施した。



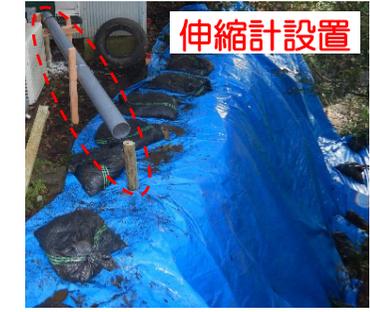
	建設サービス (株)鹿児島営業所 安藤 洋一 氏	維持出張所の方と連携をしながら現地調査及び近接民家住民の安否確認を行いました。また国道3号の早急な復旧に向け安全施設等の設置及び大型土のう運搬の作業協力を行いました。今後も安心安全な道路維持管理に尽力いたします。
	(株)三竹工業 藤山 健人 氏	緊急災害復旧の要請を受け、応急復旧工事として法面補強工事を行いました。災害復旧は迅速かつ効率的に進められることが求められる中、昼夜間作業班を編成し作業を進め、無事に二次災害等発生することなく復旧作業が完了しました。災害の早期復旧に貢献出来て、大変嬉しく思います。
	(株)鹿大丸 二之宮 隆久 氏	緊急出動要請の連絡を受け、照明車の運搬及び運営を行い災害復旧作業が安全かつ迅速に作業が終了されるよう支援をしました。
	(株)ケーネス九州支店 脇田 典彦 氏	土砂流入の復旧工事の状況を鹿児島国道事務所へ伝えるため衛星通信車を現場に設置し、衛星通信を利用してカメラ映像の通信回線を構築しました。また、工事進捗によっては支障にならないように移動が可能な簡易やぐらにモバイルカメラを設置しました。設置に際しては、建設サービス様と協力し施工を行い、迅速な対応ができました。
	丸久建設(株) 桑木 喜康 氏	災害復旧に迅速に対応し貢献することが、我々の使命であり今後も活動を継続していきたい。そして災害復旧活動等を通じて地域の人に愛される企業になっていかないとけない。
	(株)小田原建設 小田原 康弘 氏	斜面崩壊により国道3号が通行止と連絡がありました。現場に急行し、人員の緊急要請を行い重機、大型車両など手配を行い、朝までには片側交互規制、その後の全面開放並びに昼夜での法面対策まで事故なく完遂することが出来ました。物流の大動脈である国道3号の早期復旧に協力出来て地元建設会社としてのやりがいを感じました。
	福上産業(株) 森山 剛 氏	緊急出動要請が日曜日の夕方前にあり、県境近辺での土砂崩落災害でしたので人流、物流に影響しないように対応しました。まだ大雨が降る中での作業となりましたが、迅速な作業指示の元、土砂流出の二次災害もなく、片側交互通行でしたが、無事開通できて安心いたしました。
	(株)祁答院土木 亀澤 弘峰 氏	緊急出動要請の連絡を受け現地へ向かいました。夜間交通誘導を担当し、安全で円滑な交通整理を心掛け対応しました。



○(被害状況):令和6年7月14日11時30分頃、降雨の影響で斜面崩壊が発生した。延長約40m、高さ約10m、幅約12mの被害規模で、出水市境町の国道3号へ土砂等が流入した。
 ○(対応状況):一刻も早く通行規制を解除するために、復旧工法の検討を行った。また、応急復旧に向けて問題無く工事を行うために、伸縮計の設置、付近の民家等の調査を実施。



活動写真等



	(株)新日本技術コンサルタント 横道 朝一 氏	早期の交通解放に向けて、道路管理者および災害対応協力業者と緊密に連携し、対応方針の検討、復旧工法の提案等を行いました。二次崩壊防止等への対応と並行した作業となりましたが、目標であった通行規制の早期解除が無事に実現できました。
	川崎技術開発(株) 赤塚 亮 氏	通行規制解除のための応急処置と本復旧対策の検討に必要な地質調査を担当。応急処置では夜間を含む工事の安全を確保するために、WEB監視システムの地盤伸縮計を設置。データは関係者全員で共有し、変動の際、工事の一時中止と被災者への避難を促す指標とした。ボーリング調査を含み早急な対応が出来た。
	(株)大進 緋田 太 氏	復旧工事が始まる前に民家の現状の損傷調査、井戸水質調査を実施しました。各業者様と協力し迅速な対応を心掛けました。